



寒冷紗とパオパオの違いを 紹介します！



宮農経済課 TAC
藤井 拓也

秋冬野菜の播種後、よく使用する「寒冷紗」と「パオパオ」の被覆資材の違いを、今回紹介させていただきます。

寒冷紗は、霜の水滴を吸収する効果や、遮光率10～50%などの商品があり、日光を遮る効果もあります。秋冬野菜は暑さに弱い品種が多く、早生の品種を植える頃（8月～9月頃）暑くなりすぎないようにトンネル資材として使われています。

しかし、温度を生育適温に近づけると同時に、日光も遮るため徒長気味になりやすいので、安易に遮光率が高い物を選ぶ時は気を付けて下さい。

また、パオパオは遮光率が概ね10%ぐらいの商品が多く、作物にとって良好な生育環境を保ちます。発芽の促進や保温、栽培期間短縮の効果があり、べた掛け資材として使われています。

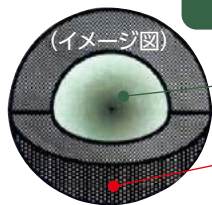
寒さ対策としてはどちらも有効な資材ですが、作物によって暑さに強い品種と弱い品種がありますので、事前にしっかりと品種の特性を確認し、被覆資材を使い分けましょう。

お知らせです！

カキ殻入りケイ酸質土壌改良材

セルカ オイスター ミネラル[®]

愛称：オイミネ



ケイ酸資材

+

カキ殻

ダブル
のV効果

ケイ酸資材

(吸収性の高いケイ酸含有)

カキ殻

(有機石灰セルカ)

まずカキ殻で根張りを良くし、
吸収性の高いケイ酸が効果
的に効くようになっています。

- 保証成分 可溶性ケイ酸:17%、アルカリ分:45%
- 含有成分 苦土:3%、カルシウム、鉄、マンガン、ホウ素、亜鉛 他
- 施用量の目安 10a当り 100kg
- 施用時期 年内～代かき前

1,037円(税込)

☆ オイスターミネラルは、水稻にはケイ酸、麦や大豆にはカルシウムや微量元素など特に必要とされる成分を含有しているため、輪作体系の中で時期や作物に限定されることなく一貫した継続的な土づくりがこれひとつで可能となります。

☆ 従来のケイ酸資材に比べ抜群の崩壊性。

※価格は当時のものとなります。